

# 「女性のエンパワーメント支援セミナー」参加者の声

11月29日～12月2日

—— 独立行政法人 国立女性教育会館(又エック)主催



十和田市男女共同参画懇話会副会長  
赤坂 恵子

私は男女共同参画懇話会の副会長という立場にあり、「男女共同参画社会」について理解を深めたいという思いで研修に参加させていただきました。

国立女性教育会館に着いた夜、新潟県の参加者と知り合うことができ、「主



人のおかげでセミナーに参加できました」というと「赤坂さん！男女共同参画では夫と呼ぶんですよ」といわれ、「あっ— そうなの」と爆笑。それが研修のスタートでした。

研修会初日の開会式で、目の前に置かれていた資料を重く感じ、4日間保つか心配でした。参加者の半分以上は行政や女性リーダーとして活躍している方々でびっくりさせられました。

研修では、グループに分かれて講義が行われ、その都度自己紹介があり、人を知ることや学習することで精一杯でした。

分科会では、「学習支援者の役割」でグループの中で声を出して読み合ったり、自分で何が大切か分かることもあるとの意見が出て、資料を読む機会を与えられ、大きな声で読み上げたことで気持ちが高まりました。

4日間の研修をおし、地域でもっと活動できるチャンスがあれば、新しいネットワークや家族との関係がみえてくるのではないかと思います。

今後は、地域活動に男女共同参画の視点を取り入れ、女性のエンパワーを広げていきたいと思います。



十和田めぐみ保育園保育士  
佐々木 イス子

この研修に5年連続で実費で参加している方が約半数もいることに驚かされました。研修のプログラムや講師等についてマイクを争うように挙手して意見、提案がだされていたことにも驚かされました。



参加者の多くが行政の方で、男女共同参画社会に関する講座や行事等の企画についての情報交換が盛んに行われ、前向きな姿勢に自分を反省させられた場でした。

また、講義の後に必ずワークシヨップがあり、どんな意見でも取り上げて話し合う参加者が多いことに刺激されました。分からないから言わないのではなく分からないから声にして周りに働きかけていくことが女性のエンパワーメントにつながり、チームワーク、そして、ネットワークづくりの基礎になることを実感しただけでも大きな成果だったと思います。

今回の研修会では、十和田市の1施設の子育て支援担当者として、自分の仕事を反省する項目を学ぶことができました。仕事を進めていく上での企画、運営、そして実践の記録など要点を押さえていくことで、地域のネットワークづくり、男女共同参画につながっていくことを確認できました。

ある講師の方が、事業を進めていくことは「たのびるしい(楽しいけど苦しい)」。それ故にやりがいがある「努力しても成果は得られないが、努力し続けなければ事業の進歩はない」と話していました。この言葉を教訓に、子育て支援の立場から男女共同参画の活動に取り組んでいければと思います。

## 男性自身で考えてみよう！ 男女共同参画社会

## 人権ってなんですか？ —— 中学生の人権教室から

十和田人権擁護委員協議会  
事務局長 松村 睦夫



『今まで人権について考えたことはなかった。宿題で「人権作文」が出たときに「何だ、それ？」と思ったのが初めてだった。「人権侵害」とか、「プライバシーの問題」とかテレビや新聞などの世界のこと、自分に関係しているとは思っていなかった。「人権は誰にでもあって、身近に存在しているんだよ」という話を聞き、そうだったのかと気付かされた。これから、普段の生活も含めて様々な面で「人権」について考える機会があるかもしれない。そのときには、正面から向き合いたい。今でも「人権とは？」と聞かれたら、つまくは答えられないが、答える必要がない気がする。



秋祭り街頭パレード

文が多く寄せられました。人権についての受け止め方は三者三様ですが、他人を思いやること、相手の立場で考えて行動することの大切さを感じとってくれたことを、頼もしく思っています。

この人権教室の趣旨は、「中学生に身近なところから人権を考えてもらうこと」とで、市の教育委員会と連携し、昨年(小学校は平成15年)から行ってきました。委員全員で企画、運営しています。今年予定した三校のうち二校が終わりました。今後とも継続したいと思っています。

最後に私たちの職務を紹介します。

一つ目は、人権啓発活動(人権教室、秋祭り街頭パレード等)による自由人権尊重の理念を普及高揚。二つ目は、人権相談(市民相談所や人権週間等特別相談所開設により日常生活の中の悩みや心配ごとトラブル等解消のための助言)。そして三つ目は、人権侵犯による被害者の救済、予防(DV、児童・高齢者虐待などの人権侵犯に関する情報収集と調査)等が挙げられます。

私たち誰もが「幸せに生きる権利」を持っていきます。今後とも、市民一人ひとりの人権を守るための色々な活動を展開したいと思っています。

### 参加者に聞きました

### 「男女共同参画」からイメージするところはありますか？

- ・ 一つのことを二人で成し遂げると言うイメージ。
- ・ ビジネスの場での男女平等というイメージがある。しかし、第一は家庭での「参画」がスタートと思いました。
- ・ お互いを尊重、違いの部分を補完すること。
- ・ 女性の社会進出。男女平等。まだまだ時間



時間が短かったというほど、活発な意見が出された

がかかる問題だなと思いました。

- ・ 男女がともに助け合い、尊重し合うイメージ。
- ・ 急には達成できない難しいテーマ。色々な会議等でも男が多く50%女性は無理との気がする。日本に限られたことではないはず。
- ・ 男女平等を求めたい。しかし、仕事、家庭など社会環境の受け皿ができていないと感じる。
- ・ 男女平等を追求されているような気がする。基本的には平等と思ってるが、それぞれの持ち分の対応だと思ってる。性別が違う部分をそれぞれ認め、相方を思いやるのが肝要と思う。